2022年度事業報告

**Ⅰ．社会的養護の必要な子どもの自立支援**

**１．こども・若者未来基金**

こども・若者未来基金による、給付型支援を継続しました。

①　通常メニュー

・今年度は、26名31件、総額9,290,000円の給付を決定しました。給付決定額については、以下の表をご確認ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| メニュー | 件 | 給付決定額（円） |
| くらしスタート | 13 | 3,130,000 |
| くらしサポート | 9 | 4,060,000 |
| 資格サポート | 0 | 0 |
| まなびサポート | 8 | 1,600,000 |
| つなぎサポート | 1 | 500,000 |

②　緊急メニュー

・2019年度に受けた遺贈を原資とし、募集期間を設定した通常メニューとは別枠で、公的な支援が届きにくい若者へ10万円を上限としできるだけ早いスピードで給付をするもので、今年度は、7名に助成しました。

・「緊急サポートSOS」の趣旨に賛同いただいた企業より、昨年に引き続き30万円の寄付がありました。

③　こども・若者未来基金の寄付募集目標は12,000,000円とし、基金運営委員会に参加の3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）とともに寄付募集を呼びかけました。実績は、8,789,958円と目標を下回りました。クラウドファンディングを含めた当基金への寄付は2,224,450円、3生協からの寄付は、6,565,508円でした。生協への寄付者も含め基金への寄付者は延べ6,243人と、多くの人の参加がありました。

④　ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス時期にニュースレター発送と共に寄付を呼びかけました。3生協は9月から、組合員への個別チラシやHP、店舗へのカンパ箱の設置などの方法で、寄付募集を呼びかけました。

⑤　クラウドファンディングは目標を200万円とし10月18日〜1月16日まで実施しました。結果は725,000円　71名の方からの寄付が集まり、手数料・消費税を引いた629,300円が振り込まれました。

⑥　2019年度よりクラウドファンディングに取り組んでおり2020年度は目標額100万円を上回る実績でした。そこで目標額を200万円に増やし、引き続き取り組んだところ、伸び悩み、結果として100万円を下回る結果となりました。2020年度、クラウドファンディングを含め当基金への寄付が増えた要因として、新聞に取り上げられたことが挙げられました。2021年度以降新聞等のメディアであまり取り上げられなかったことは、事務局として積極的なアプローチが不足していたと反省し、今後の課題とします。

⑦　5月28日（土）基金報告会2021を幕張メッセ会議室にて、会場のみで開催しました。参加者49名。基調講演は、野澤和弘氏を講師として迎え、現代の若者が抱える困難とその対応をテーマに、講演していただきました。2021年度の基金助成状況の報告を生協団体からしていただき、2020年度、2021年度に助成した若者たち2名のトーク会も行いました。

⑧　「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム2022」を2回開催しました。第1回は、会場のみ。第2回は、野本三吉氏を講師として迎え、会場とオンラインとの同時開催としました。

【第1回】

日時：9月27日（火）10：00～11：30 京北ホール（柏市）

テーマ：「社会的養護のこどもたち」

登壇者：金坂美幸さん　（自立援助ホーム希望の杜）

　　　　　　石川佳子さん（千葉県里親）

参加者：30名

【第2回】

日時：10月9日（日）14：00～16：30　場所：千葉商工会議所第2ホール

テーマ：「学びと暮らしをサポートする社会を」

講師：野本三吉さん（沖縄大学名誉教授）

参加者：50名（会場：29名　オンライン：21名）

⑨　こども・若者未来基金の周知のため、7月に児童養護施設や自立援助ホーム、母子生活支援施設、千葉県里親会、ファミリーホーム等へ基金の募集要項を送付しました。

２．食料衛生用品支援

　基金による金銭的支援の他に、昨年末に引き続き7月と12月、これまで基金を給付し、伴走者を通して希望のあった若者に、食料衛生用品支援を実施しました。7月は、千葉市社協から郵送料として寄付金3万円と飲料品を、フードバンクからは食料品やマスクなどの衛生用品の提供をしていただきました。3生協からは、食料品の提供をしていただきました。7月は47名に支援を渡すことができました。12月も千葉社協からは飲料品と食料品を、フードバンクからは食料品やマスクなどの衛生用品の提供をしていただきました。3生協からは、食料品の提供をしていただきました。12月は40名に支援を渡すことができました。

３．就労支援

就労支援については、複数の企業から就労支援をしたいという申出がありますが、実質的な就労には至っていません。今後具体的な就労方法を検討します。

４．その他

①　国・県・市へ政策提案するために、今まで5年間支援した若者について、資料を取りまとめています。

②　昨年度は基金の助成対象について検討しようという意見がだされ、今後の在り方の検討を始めました。今年度は検討委員会を立ち上げることが決まりました。

【参考】

2019～2022年度給付決定状況　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| メニュー | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| くらしスタート | 10 | 2,300,000 | 10 | 2,490,000 | 12 | 2,600,000 | 13 | 3,130,000 |
| くらしサポート | 6 | 3,840,000 | 10 | 5,652,000 | 7 | 4,860,000 | 9 | 4,060,000 |
| 資格サポート | 1 | 150,000 | 1 | 250,000 | 1 | 150,000 | 0 | 0 |
| まなびサポート | 3 | 700,000 | 7 | 1,400,000 | 15 | 2,700,000 | 8 | 1,600,000 |
| 入学金つなぎサポート | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 2,000,000 | 1 | 500,000 |
| 合計 | 20 | 6,990,000 | 28 | 9,792,000 | 39 | 12,310,000 | 31 | 9,290,000 |
| 緊急サポートＳＯＳ | 3 | 300,000 | 5 | 500,000 | 3 | 300,000 | 7 | 700,000 |
| 総計 | 23 | 7,290,000 | 33 | 10,292,000 | 42 | 12,610,000 | 39 | 9,990,000 |

\*表内の数字は決定額で、実際の給付額とは異なります。

2019年度～2022年度寄付額　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 寄付総額 | 8,545,596 | 12,796,810 | 12,006,743 | 8,789,958 |
| (内、3生協分) | 6,776,366 | 7,890,310 | 8,484,033 | 6,565,508 |

**Ⅱ．貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業**

　　千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、「ちばこどもおうえん広場2022&オレンジリボンキャンペーン」の事務局として千葉市子ども交流館アリーナでの開催に携わりました。「千葉県子どもの人権懇話会」の開催も兼ね、千葉県の子ども・若者の状況についての報告、子ども・若者によるトークセッション、同世代の若者によるダンスパフォーマンスを行いました。

**Ⅲ．里親家庭支援について**

1.　千葉県里親大会および里親制度説明2つの県の事業に応募しましたが、相見積もりの結果、県里親大会のみ受託しました。

2.　千葉県里親大会の事業として10月22日（土）に「知ってほしいな、里親のこと」を千葉県教育会館でオンラインと併せて開催し、98名の参加がありました。行政からの制度説明の後、第1部は、基調講演「出会いこそ、生きる力」というタイトルで俳優のサヘル・ローズさんにお話をしていただきました。第2部の里親体験談は、千葉県里親会会長の岩橋泉さんをコーディネーターに2世帯の里親さんのお話を伺いました。質問コーナーは、1部2部ともに多くの質問があり活発なやり取りができました。

3.　千葉市より千葉市里親委託等推進委員の委嘱を受け、「千葉市里親委託推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況の把握や、関係機関や他団体との情報共有を行いました。また、委員会の一員としてパネル展示に参加しました。

4.　里親養育包括支援（フォスタリング）事業のひとつとして、千葉市里親サポーター事業を受託しました。里親家庭の委託児童・実子に日頃の学習の補助を行う学習サポーターを福祉、教育関係の大学に募集し、応募した学生たちに里親制度について理解を深める研修を行い、11月から3件の希望する里親家庭に学生を派遣しています。

**Ⅳ．啓発・広報事業**

**１．啓発事業**

①　社会的養護の子どもの暮らしと自立を考えるシンポジウムを2回開催しました。

詳細は「Ⅰ．社会的養護が必要な子どもの自立支援」の項をご覧ください。

②　千葉県里親大会を開催しました。

詳細は「Ⅲ．里親家庭支援」の項をご覧ください。

③「子どもの人権懇話会」の開催に協力しました。詳細は「Ⅱ．貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業」の項をご覧ください。

**２．広報事業**

①　ニュースレターを、7月（総会後）、12月（秋のシンポジウム等の終了後）、3月（年度末）3回発行しました。基金で助成した子どもたちへのインタビューなどを掲載しました。

②　昨年始めたツイッターを継続しています。フォロワーが増えず、苦戦していますが、今後もおうえんだんの活動の周知に努めます。

③　ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉・生活クラブ生協・なのはな生協）の機関紙等で、組合員に向け団体の活動を発信しました。

④　コープみらい生協が主催する「コープみらいフェスタ　きやっせ物産展2023」に参加し、おうえんだんの活動の周知に努めました。

**Ⅴ．調査研究活動事業**

6月に、これまで子ども・若者未来基金で助成した子どもたちの伴走者に、コロナの影響も含めて現況の聞き取りをし、食糧衛生用品支援につなげました。学生は、オンラインだけでなく、対面での授業が再開し、友達が増えてきた、アルバイトもできるようになってきたという状況にあり、徐々にですが、以前の生活に戻りつつある様子が見受けられました。

**Ⅵ．その他**

1. パルシステム奨学金事業への推薦者の伴走支援

　　2020年度「パルシステム給付型奨学金モデル事業」、2021年度および2022年度「パルシステム給付型奨学金」に推薦した大学生4名の伴走支援を行い、毎月のヒアリング（電話・面談）の報告を、半年に1回、事業事務局を担っている一般社団法人くらしサポートウィズに提出しました。また、11月には伴走者支援団体連絡会議、3月には、伴走者支援団体報告会に参加しました。学年が上がるにつれ、就職などいろいろな悩みも出てくると思われ、伴走支援の重要性も増してくると考えます。

1. 「わくわくプロジェクトＣＨＩＢＡ」事務局

11月に千葉県立生浜高校1年生を対象に「すきなものビンゴI・II＆わくわくエンジン発見シート」プログラムを午前と午後の2回実施しました。生徒たちから「好き」という気持ちを引き出し、自己肯定感を高め、将来の自立した社会生活に活用したいとの学校側の期待に対して、想像以上の成果があったと思うと感謝の言葉をいただきました。

**Ⅶ．組織運営**

**１．運営体制**

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催しました。

理事会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な案件 |
| 4月15日 | （1）第7回通常総会について（2）こども・若者未来基金2021報告会について |
| 7月28日 | （1）年間スケジュールについて（2）基金要項について（3）基金シンポジウム開催について（4）7月食糧衛生用品支援報告 |
| 11月15日 | （1）こども・若者未来基金のあり方、今後の方針について（2）基金シンポジウムおよび里親大会報告 |
| 3月1日 | （1）第8回通常総会および基金報告会2022について（2）こども・若者未来基金助成決定について（3）パルシステム給付型奨学金奨学生について（4）12月食糧衛生用品支援報告 |

こども・若者未来基金運営委員会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な案件 |
| 5月24日 | 首都圏サポートネットワークとの意見交換会 |
| 7月8日 | （1）総会、基金報告会報告（2）基金募集要項について（3）基金シンポジウム開催について |
| 11月2日 | （1）基金シンポジウム報告（2）里親大会報告（3）7月食糧衛生用品支援報告（4）つなぎサポート返金について（5）クラウドファンディングについて（6）緊急サポート申請について（7）基金申請について（8）基金のあり方、今後の方針について |
| 12月14日 | （1）こども・若者未来基金2022申請受付結果について（2）寄付状況について（3）つなぎサポート返金について（4）緊急サポート申請について |
| 1月23日 | （1）12月食糧衛生用品支援報告（2）つなぎサポート返金について（3）寄付状況について（4）こども・若者未来基金2022助成決定について（5）パルシステム給付型奨学金奨学生の推薦について |
| 3月22日 | （1）第8回通常総会および基金報告会2022について（2）つなぎサポート返金について（3）緊急サポートＳＯＳについて（4）パルシステム給付方奨学金奨学生の推薦について |

こども・若者未来基金生協実務者会議

|  |  |
| --- | --- |
| 5月13日 | （1）2021年度基金助成の結果について（2）基金報告会について（3）食糧衛生用品支援について（4）基金シンポジウム開催について |
| 8月22日 | （1）7月食糧衛生用品支援について（2）クラウドファンディングについて（3）基金シンポジウム開催について（4）12月食糧衛生用品支援について |
| 11月22日 | （1）基金シンポジウム報告（2）寄付状況について（3）基金のあり方、今後の方針について |
| 3月23日　 | （1）寄付状況について（2）給付決定状況について（3）食糧支援報告（4）第8回総会及び基金報告会2022について |

**２．会員拡大について**

①　新規加入者が14人増え、会員数は目標を達成しました。

②　寄付者の寄付控除ついては、ニュースレターに掲載して周知を図りました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 目標 | 実績 |
| 2022年度会費納入済み会員 | 会員総数 |
|  | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 |
| 運営会員 | 個人 | 16人 | 20口 | 8人 | 10口 | 15人 | 19口 |
| 団体 | 5団体 | 54口 | 5団体 | 54口 | 5団体 | 54口 |
| おうえん会員 | 個人 | 150人 | 170口 | 128人 | 178口 | 159人 | 220口 |
| 団体 | 10団体 | 12口 | 6団体 | 8口 | 9団体 | 11口 |

＊定款第3章会員第9条（3）に「継続して2年以上会費を滞納したときに、会員の資格を

喪失する」とある。実績の会員総数には2022年度会費未納者も含まれる。

2022年度決算報告の活動計算書「受取会費」は、「2022年度会費納入済み会員」数による。

＜資料＞

特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
| 自立支援事業 | 社会的養護の子どもたち（第１回） | 9月27日（火）10：00～11：30 | 京北ホール | 6人 | 社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者　30人 |
| 自立支援事業 | 社会的養護の子どもたち　「学びと暮らしをサポートする社会を」（第２回） | 10月9日（日）14：00～16：30 | 千葉商工会議所オンライン | 6人 | 社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者　50人 |
| 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業 | ちばこどもおうえん広場人権懇話会 | 11月6日（日）14：00～16：00 | 千葉市子ども交流館アリーナ | 3人 | 子どもと子どもの支援に興味関心のある不特定の参加希望者 |
| 里親家庭支援事業 | 千葉県里親大会 | 10月22日(土)14：00～16：30 | 千葉県教育会館 | 5人 | 里親制度に興味のある不特定の参加希望者　98人 |
| 啓発・広報事業・政策提案 | SNSやHPを活用した情報発信 | 随時 | 法人事務所内 | １人 | 不特定多数 |
| ニュースレターの発行 | 7月、12月、3月 | 法人事務所内 | 6人 | 会員・寄付者約280人 |